

2018年2月期 第1四半期 決算補足資料

2017年6月30日
株式会社アダストリア

目次

I. 営業報告

・ ブランドトピックス	3
・ WEB事業	5

II. 2018年2月期 第1四半期業績

・ 連結損益計算書	7
・ アダストリア単体	9
・ 海外事業	10
・ 連結貸借対照表	11
・ 店舗数	12
・ 連結通期予想	13

I. 營業報告

ブランドトピックス

GLOBAL WORK

売上高：98億円（前年同期比109.8%）

■ レディース・キッズが好調に推移

- ・ファッション性の強化
- ・キッズのサイズ展開拡大

■ ブランド初のカフェ業態『GLOBAL WORK CAFE』 イオンモール浜松市野店内にオープン



GLOBAL WORK CAFE イオンモール浜松市野

niko and ...



であうにあう



ニコアンドららぽーとTOKYO-BAY

ADASTRIA

Copyright © 2017 Adastria Co., Ltd. All rights reserved.

niko and ...

売上高：65億円（前年同期比117.8%）

■ EC売上が好調

■ 10周年プロモーション

■ 大型店SCバージョンの展開

- ・ niko and ... TOKYO店のみで展開していたMDを移設増床したらぽーとTOKYO-BAY店でも採用
- ・ 今後のSC内増床改装店舗にも横展開し、売上アップに繋げる

3

まず、営業の状況についてご報告させていただきます。

基幹ブランドであるグローバルワーク・ニコアンド・スタディオクリップは今年度に入っても引き続き好調に推移しております。

グローバルワークの売上高は前年同期比109.8%となる98億円で、特にレディースとキッズ部門が好調です。これは、親子コーディネート提案するなどしてファッション性を強化したり、キッズ部門のサイズ展開を拡大したことが要因の一つと考えています。

また、大型店化戦略の一環として、ブランド初のカフェ業態『GLOBAL WORK CAFE』がイオンモール浜松市野店内にオープンしました。アパレルと飲食の「掛け合わせ」で、リラックス空間をお客様に提供いたします。

ニコアンドの売上高は前年同期比117.8%となる65億円で、店舗だけでなく、ECチャネルの売上も順調に伸びています。10周年を記念して、ブランドアンバサダーに起用した坂口健太郎さん、忽那（くつな）汐里さんが出演するムービーを店頭やブランドサイトで公開したり、記念グッズを発売しました。また、旗艦店の「niko and ... TOKYO」のみで展開していたMDを、移設増床したらぽーとTOKYO-BAY店でも採用したところ、お客様からかなり好評をいただいております。今後も有力な商業施設において大型店を展開していく戦略を進めるにあたり、TOKYO-BAY店同様に旗艦店のMDを横展開して売上アップに繋げていきたいと思っております。

ブランドトピックス

BAYFLOW

売上高：19億円（前年同期比163.3%）

- サーフカルチャーをバックボーンに持つ音楽とアートのカルチャーイベント“GREENROOM FESTIVAL”に初参加
 - ・ イベント限定商品が大人気
- 織研新聞社主催第19回ディベロッパーが選ぶテナンド大賞において「新人賞」を受賞



ADASTRIA

Copyright © 2017 Adastria Co., Ltd. All rights reserved.

HARE

- Amazon Fashion Week TOKYOに初参加
 - ・ 次シーズンのトレンドを生む最新コレクションが発表される世界の5大ファッションウィークの一つ
 - ・ [st]でLIVE中継し、一部商品はショーを見ながら買うことができる「SEE NOW BUY NOW」の取組みを実施

4

ベイフローは2014年春のデビューから4年目に入っても高成長を維持しております。

第1四半期の売上高は19億円で、前年同期比163.3%でした。

5月にはサーフカルチャーをバックボーンに持つ音楽とアートのカルチャーイベント“GREENROOM FESTIVAL”に初めて参加し、限定販売していたロゴトートバッグとTシャツは多くのお客様にお並びいただくほど大人気でした。総来場者数が約11万人となるイベントに参加することで、さらなる認知度の向上に繋がったと考えています。

また、ブランドの躍進が評価され、織研新聞社主催の第19回ディベロッパーが選ぶテナンド大賞において、「新人賞」を受賞いたしました。多くの出店要請をいただいておりますので、好立地を厳選しつつ、積極的な出店を進めてまいります。

最後に、ハレについてお伝えします。

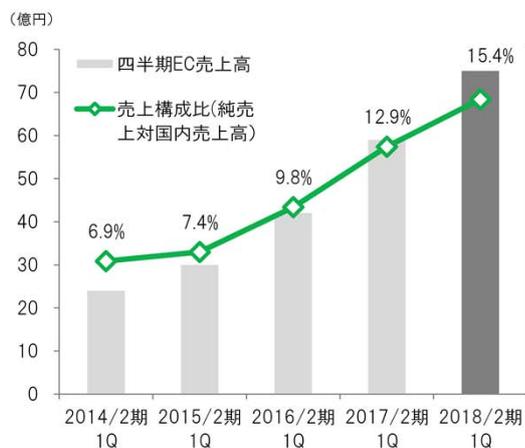
ハレは比較的ファッション感度が高い20代～30代の男女に向けたブランドで、アダストリアのブランドとしては初めて「Amazon Fashion Week TOKYO」に参加しました。「Amazon Fashion Week TOKYO」は次シーズンのトレンドを生む最新コレクションが発表される世界の5大ファッションウィークの一つです。自社ECサイト[st]でショーの様子をLIVE中継し、一部商品をショーを見ながら買うことができる「SEE NOW BUY NOW」の取組みも実施しました。

WEB事業

売上高：75億円（前年同期比127.0%）

対国内売上高構成比：15.4%（うち自社EC約8%）

自社EC[.st]会員数：約590万人(前期末比+30万人)



*：2014/2期は合併前のトリニティアーツ実績を合算済
*：自社EC売上の計上ベースを変更したことにより対国内売上高構成比を過去に遡って変更

自社EC [.st]の拡大

- 会員制度の変更により優良会員（シルバーランク以上）構成比が上昇
- 新アプリをリリースしてアプリ経由売上構成比が上昇

[.st]

■ お気に入り画面



■ フィード画面



購入商品の
コーディネート提案

さらにパーソナライズ化した情報を表示

第1四半期のWEB事業売上高は75億円、前年同期比127.0%となりました。

国内売上高に占めるEC売上比率は15.4%となり、そのうち約8%が自社ECサイトでの売上です。

[.st]（ドットエスティ）の会員数も590万人を突破し、前期末比30万人増とペースダウンすることなく増加を続けています。

なかでも、自社ECサイトの売上拡大を目指していくつか取組みを実施しております。

一つは、[.st]会員制度について、ダイヤモンドランクを追加し、ランクアップ査定時間を短縮するなどの変更を加えた結果、シルバーランク以上の所謂優良会員構成比が上昇しました。また、3月に[.st]アプリをリニューアルし、購入商品のコーディネート提案など新機能の導入によってアプリ経由の売上構成比も上昇しました。

Ⅱ. 2018年2月期 第1四半期業績

連結損益計算書

(百万円)

	2017/2期 1Q		2018/2期 1Q		
	実績	構成比	実績	構成比	前年同期比
売上高	48,552	100.0%	54,066	100.0%	111.4%
アダストリア単体	46,222	95.2%	49,261	91.1%	106.6%
海外 *1	2,708	5.6%	2,627	4.9%	97.0%
アリスア *2	-	-	2,517	4.7%	-
売上総利益	29,727	61.2%	32,089	59.4%	107.9%
販管費	24,502	50.5%	28,092	52.0%	114.6%
広告宣伝費	1,728	3.6%	2,067	3.8%	119.7%
人件費	8,366	17.2%	8,890	16.4%	106.3%
設備費	9,570	19.7%	11,193	20.7%	117.0%
のれん償却費	546	1.1%	591	1.1%	108.3%
その他	4,291	8.8%	5,349	9.9%	124.6%
営業利益	5,224	10.8%	3,996	7.4%	76.5%
アダストリア単体 (のれん償却前)	5,905	-	4,783	-	81.0%
海外 *1	▲ 407	-	▲ 440	-	-
アリスア (のれん償却前) *2	-	-	122	-	-
アダストリア・ロジスティクス	156	-	169	-	108.3%
経常利益	5,284	10.9%	4,056	7.5%	76.8%
純利益	2,983	6.1%	5,383	10.0%	180.5%
EBITDA	7,113	14.7%	6,167	11.4%	86.7%
減価償却費	1,342	2.8%	1,579	2.9%	117.6%
のれん償却費	546	1.1%	591	1.1%	108.3%

*1: 海外5法人(香港・台湾・中国・韓国・シンガポール)の単純合算
*2: 2018/2期1Qより実質連結化

連結損益計算書

- **売上高：540億円**（前年同期比111.4%）
 - ・国内既存店売上高前年比102.6%と堅調持続
ニコアンド・ベイフロー・スタディオクリップ・グローバルワークなどが牽引
 - ・アリスアの売上貢献開始

- **売上総利益率：59.4%**（前年同期比▲1.8p）
 - ・春物在庫の消化促進による値下げ率の上昇、在庫抑制

- **販管費率：52.0%**（前年同期比+1.5p）
 - ・広告宣伝費：3.8%（同+0.3p）TVCMなど広告宣伝積極化
 - ・人件費：16.4%（同▲0.8p）前下期業績に連動して賞与引当金を戻入
 - ・設備費：20.7%（同+1.0p）オフィス移転関連費用(4億円)、出店増
 - ・その他：9.9%（同+1.1p）配送費等の増加

- **営業利益：39億円**（前年同期比76.5%）
 - ・営業利益率7.4%（前年同期比▲3.4p）、EBITDAマージン11.4%（同▲3.3p）

- **純利益：53億円**（前年同期比180.5%）
 - ・投資有価証券売却益43億円を特別利益として計上

連結損益計算書のご説明をいたします。

当第1四半期の連結売上高は540億円で、前年同期比111.4%となりました。
ニコアンド、ベイフロー、スタディオクリップ、グローバルワークなどが牽引して国内既存店売上高前年比が102.6%と堅調に推移したことに加え、当四半期よりアリスアの売上高25億円が連結売上高に加わったためです。

売上総利益率は、59.4%と前年同期比▲1.8P低下しました。
春物在庫の消化促進によって値下げ率が上昇し、5月末の在庫も抑制出来ているためです。

販管費率は、52.0%と前年同期比+1.5P上昇しました。
内訳を申し上げますと、広告宣伝費率はグローバルワークやニコアンドなど基幹ブランドを中心に広告宣伝を積極化させた結果、+0.3P上昇、人件費率は前下期の業績に連動して賞与引当金を戻し入れたこと等によって▲0.8P低下、設備費率はオフィス移転関連費用約4億円に加え、出店の増加もあって+1.0P上昇、最後に、その他販管費率はWEBでお買い上げいただいたお客様のご自宅に届ける小口配送費や、システム構築や当社が社内の新しい仕組みを導入する上で外部の専門家の知見を活用する費用などの増加によって、1.1P上昇しています。

この結果、営業利益は前年同期比76.5%となる39億円となりました。
営業利益率は7.4%、EBITDAマージンは11.4%です。

特別利益として、投資有価証券売却益43億円を計上した結果、純利益は前年同期比180.5%の53億円となりました。

アダストリア単体

(百万円)

	2017/2期 1Q	2018/2期 1Q	
	実績	実績	
			前年同期比
売上高	46,222	49,261	106.6%
(既存店前年比)	(104.7%)	(102.6%)	-
グローバルワーク	8,992	9,871	109.8%
ニコアンド	5,591	6,584	117.8%
ローリーズファーム	6,137	6,055	98.7%
スタディオクリップ	4,853	5,444	112.2%
レプシム	3,842	3,759	97.8%
売上総利益	28,297	29,269	103.4%
売上総利益率	61.2%	59.4%	▲ 1.8p
販管費 (のれん償却前)	22,392	24,486	109.4%
販管费率	48.4%	49.7%	+1.3p
営業利益 (のれん償却前)	5,905	4,783	81.0%
営業利益率	12.8%	9.7%	▲ 3.1p
出店	31	59	
退店	1	5	
改装	30	25	
期末店舗数	1,250	1,297	

こちらはアダストリア単体の損益計算書ですが、先程の連結業績の説明とほぼ重なっておりますので、説明は割愛させていただきます。

出退店につきましては、第1四半期の3ヶ月間で59店舗を出店し、5店舗を退店しました。前年同期に比べますと出店・退店ともに大きく増加しております。

ブランドごとの内訳につきましては、12ページに記載しておりますのでご確認ください。

海外事業

(百万円)

(海外現法単純合算)	2017/2期 1Q	2018/2期 1Q		
	実績	実績		
		前年同期比 (円ベース)	前年同期比 (現地通貨ベース)	
売上高	2,708	2,627	97.0%	98.2%
香港	1,677	1,578	94.1%	95.4%
中国	454	437	96.2%	104.1%
韓国	181	191	105.5%	102.8%
台湾	395	420	106.4%	101.6%
シンガポール *1	0	-	-	-
営業利益	▲ 407	▲ 440	-	-
香港	▲ 214	▲ 283	-	-
中国	▲ 109	▲ 95	-	-
韓国	▲ 115	▲ 68	-	-
台湾	27	7	26.5%	25.3%
シンガポール	4	-	-	-

海外事業についてご説明いたします。

海外の第1四半期は1-3月の3ヶ月となりますが、円ベースの売上高は前年同期比97.0%となる26億円、営業利益は▲4億円の損失となりました。

香港は前期に比べてもさらに暖冬で、冬物販売が不振に終わり、苦戦が続いています。韓国は、ブランド軸での運営が軌道に乗っており、メンズ、服飾雑貨の商品数を増加させたことなどが奏功して売上は好調に推移しております。

連結貸借対照表

(百万円)

(連結)	2016年5月末		2017年2月末		2017年5月末			
		構成比		構成比		構成比	2016年5月末比 増減額	2017年2月末比 増減額
流動資産	40,450	46.5%	48,178	53.3%	48,078	50.3%	+7,628	▲99
現預金	9,070	10.4%	20,734	22.9%	12,130	12.7%	+3,059	▲8,603
棚卸資産	16,602	19.1%	16,351	18.1%	18,954	19.8%	+2,352	+2,603
固定資産	46,583	53.5%	42,210	46.7%	47,507	49.7%	+923	+5,296
有形固定資産	11,684	13.4%	10,444	11.6%	12,537	13.1%	+852	+2,092
のれん	4,947	5.7%	3,309	3.7%	7,205	7.5%	+2,258	+3,896
投資その他資産	28,419	32.7%	26,213	29.0%	25,065	26.2%	▲3,354	▲1,147
総資産	87,033	100.0%	90,389	100.0%	95,585	100.0%	+8,551	+5,196
負債	32,145	36.9%	34,353	38.0%	38,477	40.3%	+6,331	+4,123
有利子負債	1,743	2.0%	2,027	2.2%	2,544	2.7%	+800	+516
純資産	54,888	63.1%	56,035	62.0%	57,108	59.7%	+2,220	+1,073
自己株式	▲1,835	▲2.1%	▲4,645	▲5.1%	▲4,647	▲4.9%	▲2,811	▲1

- **現預金** : 前年同期末比ではネットキャッシュで+22億円増加
- **棚卸資産** : 単体では前年同期末比103.7%に抑制
- **固定資産** : 新たにアリシア(10億円)、Velvet, LLC(約33億円)ののれんを計上
投資有価証券の売却により投資その他資産が減少
- **純資産** : 純資産比率は59.7%と安定的な水準を維持

*1: Velvet, LLCののれんは概算

連結貸借対照表です。

まず、アリシア社が今期から実質的に連結されていることに加え、米国Velvet社も期末のバランスシートのみ連結を開始しております。

現預金は121億円と、前年同期末比でネットキャッシュで22億円増加しました。

棚卸資産は、189億円と前年同期末比115.9%となっていますが、単体では春物の在庫消化を進めた結果、前年同期末比103.7%に抑制できています。

のれんは、アリシア10億円、Velvet約33億円が加わったため、前年同期末比+22億円増加しております。一方で有価証券の売却により、投資その他資産は減少しております。

純資産は571億円で、純資産比率は59.7%と引き続き安定的な水準を維持しております。

店舗数

	2017/2期	2018/2期 1Q実績					期末 店舗数
	期末 店舗数	増加 *1 *3	出店等	変更	退店		
グローバルワーク	192	-	9	0	▲ 1	200	
ニコアンド	129	-	6	0	▲ 1	134	
ローリーズファーム	152	-	4	0	0	156	
スタディオクリップ	182	-	8	0	0	190	
レブシム	134	-	7	0	0	141	
ジーナシス	80	-	2	0	0	82	
レイジブルー	58	-	0	0	0	58	
ベイフロー	32	-	4	0	0	36	
その他	284	-	19	0	▲ 3	300	
アダストリア合計	1,243	-	59	0	▲ 5	1,297	
(うちWEBストア)	(39)	-	(5)	(0)	(0)	(44)	
アジア合計 *1	-	113	1	0	▲ 2	112	
(うちWEBストア)	-	(6)	(0)	(0)	(0)	(6)	
国内合計	1,243	113	60	0	▲ 7	1,409	
(うちWEBストア)	(39)	(6)	(5)	(0)	(0)	(50)	
香港	25	-	0	0	▲ 1	24	
中国 *2	45	-	1	0	▲ 3	43	
台湾	29	-	0	0	0	29	
韓国	9	-	0	0	0	9	
米国 *3	-	9	0	0	0	9	
海外合計	108	9	1	0	▲ 4	114	
(うちWEBストア)	(8)	(1)	(0)	(0)	(0)	(9)	
連結合計	1,351	122	61	0	▲ 11	1,523	

*1 : 2018/2期1Qより実質連結化

*2 : 代理商 (2017/2期1Q末20店舗) を含む

*3 : 2018/2期1QよりBS連結

連結通期予想

変更なし

(百万円)

(連結)	2017/2期			2018/2期 予想						
	実績			上期		下期		通期		
	上期	下期			前年同期比		前年同期比		構成比	前年比
売上高	97,726	105,960	203,686	110,300	112.9%	122,700	115.8%	233,000	100.0%	114.4%
営業利益	8,054	6,861	14,916	5,500	68.3%	9,500	138.5%	15,000	6.4%	100.6%
経常利益	8,050	7,075	15,126	5,500	68.3%	9,400	132.9%	14,900	6.4%	98.5%
純利益	4,848	6,726	11,575	5,900	121.7%	6,000	89.2%	11,900	5.1%	102.8%
ROE	-	-	21.2%	-	-	-	-	19.8%	-	▲ 1.4p
EBITDA	11,903	11,124	23,028	9,600	80.7%	14,000	125.9%	23,600	10.1%	102.5%
減価償却費	2,757	3,171	5,928	2,900	105.2%	3,300	104.1%	6,200	2.7%	104.6%
のれん償却費	1,092	1,092	2,184	1,200	109.9%	1,200	109.9%	2,400	1.0%	109.9%
設備投資			7,992					16,800		

第1四半期の業績は概ね計画通りであり、4月に公表しております上期・通期の会社計画に変更はありません。

新本部オフィス

2017年7月グランドオープン



A DASTRIA

Copyright © 2017 Adastria Co., Ltd. All rights reserved.

業績予想の適切な利用に関する説明

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

その他留意事項

資料内の数値は百万円未満を切り捨て表示し、百分率は元データから算出しております。

A D A S T R I A
—